

株式会社 アルシュ arche

arche Journal

アルシュ ジャーナル

住まいに関するあれもこれも・・・

いろいろなお役立ち情報を まとめてお届けします！！

目次

見たことありますか？ ご当地ナンバープレート	1
新築戸建住宅の販売形態	2
あれば使う？ディスプレイ	2
鶯張りの廊下 江戸時代の警報装置！	3
建築界のノーベル賞 「プリツカー賞」 7人目の日本人受賞者	3
“定礎” 本当の役割は？	3
アルシュの施工事例をご紹介	4

朝晩も過ごしやすい季節になりました。日中は暑いぐらいの陽気が続いていますね。

5月になると、よく聞かれる「五月晴れ（さつきばれ・ごがつばれ）」という言葉…本来は、旧暦の5月（新暦の6月）の梅雨の時期に見られる晴れ間のこと。

現在では、“（新暦の）5月の清々しい晴れ”を指す言葉としても使われています。国語辞典にも、こちらの意味で掲載されている場合もあるのだとか！

言葉は、時代に合わせて変わっていくものです。

旧暦の5月（新暦の6月）に降る雨は『五月雨（さみだれ）』と言われていますが、そのうち、この『五月雨』も“（新暦の）5月に降る雨”という意味で使われるようになる時がくるのかもしれないよ。

アルシュの窓 あじさい

アルシュの新入りさん。少し先取りで、今月は☆アジサイ☆

紫陽花と言えば6月のイメージですが、花屋さんには5月ごろから並びだしますよね。淡い色が多い紫陽花ですが、この濃い赤色に惹かれて、事務所に連れて帰ってきてしまいました（^^）最近では、母の日に紫陽花を贈るのも人気なのだとか・・・♪



見たことありますか？ ご当地ナンバープレート



例えば大阪では…

関西国際空港開港20周年記念
（泉佐野市・泉南市・田尻町）
一般募集で、総数98点の中から選ばれたデザインのプレート

日本全国の「ゆるキャラ」は、全て合わせると、なんと…800種類以上も存在しているのだとか！昔からよく見かける「ご当地〇〇」。ここ最近密かなブームになっているのが“ナンバープレート”なのです。バイクを中心に各市町村で急増しています。2007年に、愛媛県松山市が雲形のプレートを導入したのが始まり。現在、278都市で77種類ものデザインが！市政60周年を記念した福

島県須賀川市のウルトラマンや、千葉県佐倉市のルパン三世。物語の舞台となっている神奈川県箱根市は、エヴァンゲリオンデザインのプレートが施されています。ナンバープレートのデザインには、法定な拘束がありません。市町村の条例で決めることができ、一般から募集している市町村もあるんですよ！

自分がデザインしたプレートが、街を走るなんてことがあるかもしれませんね♪

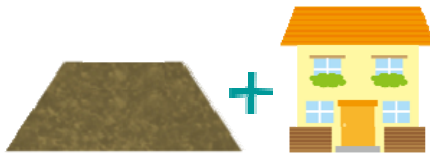
新築戸建住宅の販売形態

新聞の折り込みなどで見かける、住宅販売のチラシ。注文住宅から建売住宅まで、様々なものがありますよね。実は、戸建住宅の販売形態は、主に3種類しかないのをご存知ですか？

分譲宅地



建築条件付土地



建売住宅



分譲宅地

注文住宅を建てたいという方は、分譲宅地（＝土地のみ）を購入します。

売主と土地の売買契約を結び、自分で建築業者（ハウスメーカーやお付き合いのある工務店）を決めることができます。

メリット：間取りや仕様などは自由に決めることができるので、自分好みの家を建てることができます。

デメリット：希望が多すぎて、気がつくとかかなり予算オーバーになってしまうことも…。

建築条件付住宅

土地の売主が指定した建築業者で家を建てなければいけません。

まず土地の売買契約を結び、それから3ヶ月以内に建築請負契約を結びます。（※この間に家のプランや予算を検討）

メリット：参考プランが考えられていることが多く、家のイメージがしやすい。施工過程を見ることができる。

デメリット：注文住宅が建てられると思われがちですが、指定された業者によっては使用できない材料や工法があります。

どこまで希望が通るのか、打合せの段階で業者に確認することが大切です。

もちろんプランなどに不満があれば解約も可能です。解約しても支払ったお金は全額返ってくるのでご安心を。

建売住宅

宅地と建物をセットで販売している形態です。売主とは土地と建物の売買契約を結びます。

メリット：家が完成しているので、イメージと食い違うことはありません。金額も決まっているので資金の計画が立てやすい。

デメリット：間取りや仕様などは決まっているので、変更ができないことです。

工事が始まる前に販売を始めることもあるので、多少の変更はできることもあります。

家は一生に一度のお買い物です！自分にあった販売形態で、夢のマイホームを手に入れましょう！

あれば使う？ディスポーザー

生ゴミを粉々にして、そのまま排水口に流せる主婦の味方“ディスポーザー”。生ゴミを24時間365日、いつでも手間なく処理することができます。これからの暑い季節、家に帰ると部屋に嫌な臭いが…！なんてこともなくなります。

最近では、ゴミ捨てが面倒な、高層マンションなどに多く普及しています。

1度使い出すと手放せないという方も多いのではないのでしょうか。しかし、便利なディスポーザーも使い方を間違えると大変なことになってしまいます…。

それは、**排水管の詰まりと逆流**。粘着性

のあるもの（卵の殻など）を流していると、長年の積み重ねで排水管が塞がってしまいます。ひどくなると自分の家だけでなく、周辺の家のキッチンのシンクから大量の排水が一気に噴出することも。繊維質の物など流せないものもあり、家から生ゴミがゼロ！というわけにもいかないようです。

日々のメンテナンスも大切で、意外と維持費にコストが掛かるという声もあります。市町村によっては申請や浄化槽設備が必要な場合もあるので、興味のある方は、お問い合わせを。

ディスポーザー1号機



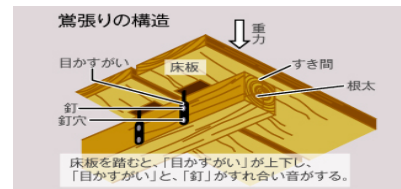
1927年、建築家で発明家でもあったジョン・ハムス氏が奥さんの為に生ゴミ処理機を作ったのが始まり！

鶯張りの廊下 江戸時代の警報装置！

防犯対策として、光センサーなどの警報装置が取付けられるようになったのは、ここ最近のこと。昔は、一体どうしていたのでしょうか…？

みなさんは、**鶯張り**（うぐいすばり）という床の作り方をご存知ですか。これは江戸時代の大工が残してくれた「音」を利用した防犯対策なのです。鶯張りの廊下を歩くと、どんなにそっと歩いても音がします。その音が、鶯の鳴き声に似ていることから、鶯張りとか付けられました。仕掛けのポイントは、目鋸（めかすがい）という鉄製の金具。床板とそれを

支える根太の間に目鋸を取付けます。床板に重さがかかると目鋸が上下し、打付けた釘とこすれあって音がする仕組み。でも、鶯の鳴き声は「ホーホケキョ」なのでは…？ 実はこの当時、鶯とメジロはよく間違われていたのだとか。花札の“梅に鶯”は、本当は“梅にメジロ”。**鶯色はメジロの体色**ということは、バードウォッチャーの間では、常識だそうです！しかもメジロは、警戒する時にキュルキュルと鳴きます。実は、鶯張りではなく、メジロ張りが正解なのかもしれませんね（^^）



【画像参照】ローム彩時記
http://micro.rohm.com/jp/rohm-saijiki/nijoujou/seasonview_nijoujou.html



知恩院
御影堂から小方丈にかけて550mの、鶯張りの廊下

建築界のノーベル賞「プリツカー賞」 7人目の日本人受賞者



2011年
避難所用
紙の間仕切りシステム

2014年
フィリピン
「紙の
ログハウス」



【坂茂建築設計HP】
http://www.shigerubanarchitects.com/

建築の世界には「建築界のノーベル賞」と言われる賞があります。その名は“プリツカー賞”。この建築界最高の栄誉、今年の受賞者は、日本人建築家の**坂茂（ばんしげる）氏**。坂氏は『紙の建築』で知られる建築家です。民族紛争の起きたルワンダでは、紙の管を使った難民シェルターを。阪神淡路大震災では、紙の教会を設計しています。過去20年間に起こった大災害のほぼ全ての仮設住宅を手掛けたことで知られています。世界各地で被災者のために低コ

ストでリサイクルが可能な建築物の建設に尽力してこられた建築家なのです。東日本大震災では、コンテナで仮設住宅を作ったり、紙と布で避難所の間仕切りを提供したことで話題になりました。プリツカー賞の審査委員会のあげる授賞理由のひとつが“現代のハイテク技術に頼っていない”という点なのだとか。必ずしも、新しいものが良いとは限りません。実は古いものや、昔からあるものが、大きな可能性を秘めていたりするんでしょうね…。

“定礎” 本当の役割は？

ビルやマンションの玄関横に置かれた“定礎（ていそ）”の文字が刻まれたプレートや石。あれは、建物が完成した日を記しただけと思いませんか？

定礎とは、石造建築の本来・ヨーロッパのコーナーストーンに由来し、礎石を据えて工事を始めることを意味します。その時に行われる儀式を“定礎式”といいます。本来、定礎式は工事の初期段階で行われていたものなのですが、最近では工事の中締めとして行われることが多いようです。それまでの工事の安全に対する感謝と、これからの工事の安全と建物の安泰を祈るた

めに行われます。その時に定礎板が取り付けられます。実は、この板の奥には“定礎箱”と、呼ばれる箱が埋められているのです。中には、その建物の平面図・お札・通貨・当日の新聞・施主や施工者などの工事関係者の名簿などが入れられます。原則として定礎箱は、建物が壊されるまで開けられることはありません。そのため、材質は永年の腐食に耐えられるように、鉛や銅、ステンレスで作られています。なんだか素敵…。定礎は、その建物のタイムカプセルが埋められている場所なのです。



金沢市丸の内にある金沢城跡地で発見されたものが、最古の定礎。
「宝暦十三癸未年 歳始 六月廿五日」と記されているそうです。
(宝暦13年=西暦1763年)

アルシュの施工事例をご紹介します！

Simple is bestという言葉もありますが、ちょっとしたアクセントで、お部屋を演出！！
当社が施工した、素敵な空間を作るアイデアをご紹介します。



和室の吊り押入れの扉を一工夫。空間の広がりも生まれモダンな和室に変身します。



壁に作り付けの収納棚。部屋のアクセントにもなり一石二鳥です。



窓には、ロールカーテン。天井も一味違ったデザインでお洒落な和室を演出しています。



飾りガラスを施すことで、オリジナリティある空間が生まれます。



床の間の壁を曲線に。天井からの下り壁に奥行き感が感じられます。



番外編

廊下からキッチンへの段差部分に滑り止め機能付きのシートを。段差を意識できるので、つまづくことがなく安心です。



部屋の一部を薄緑色のクロスに。部屋の雰囲気が一層明るくなります。



新築・リフォーム・住まいのことなら！

株式会社 アルシュ arche

〒564-0063 吹田市江坂町1丁目9番17号

TEL : 06-6380-5420

FAX : 06-6380-5421

Email : arche@blue.ocn.ne.jp

<http://www.arche-arche.net>

アルシュでは、ご自宅を公開していただけるお客様を募集しております。ご自宅にお伺いしての写真撮影・インタビューなどに、ご協力をお願いします。また、楽しくなるようなひらめきや工夫でEcoライフを楽しんでいる方のお話なども募集しております。その他ご質問や取り上げてほしい話題・住まいに関する疑問、我が家のペット自慢等々、是非お気軽にお寄せ下さいませ。皆様からの、率直なご意見・ご感想 お待ちしております。